ZEPEAL

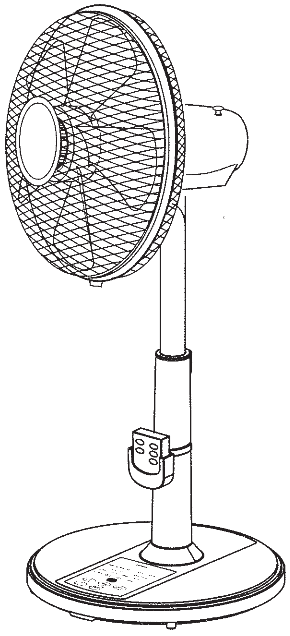
ゼピール　リビング扇風機(羽根サイズ30cm)

DRT-A3312-PK

[入・切ダブルタイマー付] [リモコン付]

取扱説明書(保証書付)

このたびはリビング扇風機をお買上げいただき、誠に有難う御座いました。
ご使用の前に、この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、保証書とともに大切に保管してください。
万一ご使用中に分からないことや不具合が生じたとき、きっとお役に立ちます。



●イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

もくじ

安全上のご注意……1~2
各部の名称と使いかた……3
組み立てかた……4~5
操作のしかた……6~8
リモコン……9
特に注意していただきたいこと……10
お手入れと保管……11~12
長年ご使用の扇風機はよく点検を……13
アフターサービスについて……13
仕様……13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について……14

●この扇風機は、一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。

●この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

「安全上のご注意」

※ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近辺に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警　　告

⊘	羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンを押したり、モーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
⊘	水につけたり、水をかけたりしないで下さい。 ショート・感電の恐れがあります。
⊘	修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
●	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、濡れた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。
⊘	包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する。 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因となります。
⊘	使用中（羽根の回転中）に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。 ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。
⊘	転倒による羽根破損に注意して下さい。 強い衝撃や落下により羽根が破損するおそれがあります。 使用中やお手入れの際は十分にご注意ください。

⚠ 注　意

交流100V以外では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

本製品は、一般家庭用です。次のような所では使わないで下さい。感電、火災、破損、故障の原因になります。

- 温室やビニールハウスなど湿度の高い所、雨や水しぶきがかかる所。
- 工場内などの油のつきやすい所。
- 有機溶剤を使用している所。
- 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い所。
- 室外や40℃以上の高温になる所。
- ガスレンジなど炎の近くや、引火性のガスのある所。

髪をガードに近づけすぎない。
髪が巻き込まれてけがをする恐れがあります。

畳、床面などでベースを引きずらない。
畳、床面などを傷つける恐れがあります。

風を長時間からだにあてないでください。
健康を害することがあります。

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグがいたんだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。電源コードを束ねてある結束バンドは必ずはずしてお使いください。

ガードの中や可動部へ指などを入れないでください。けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

本体に異常（大きな騒音や大きな振動など）が発生した場合は、ただちにご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。

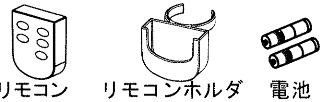
電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

「各部の名称と使いかた」

お　願　い

カーテンなどの障害物の周囲や不安定な場所をさけてご使用ください。

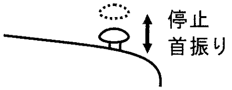
付属品



● 乾電池は工場出荷時に同梱していますので自己放電のため、寿命が1年以下の場合があります。

首振り

首振りつまみを下へ押すと首振りを始め、上へ引き上げると停止します。



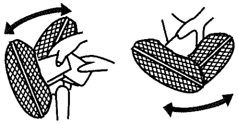
高さを調節するには

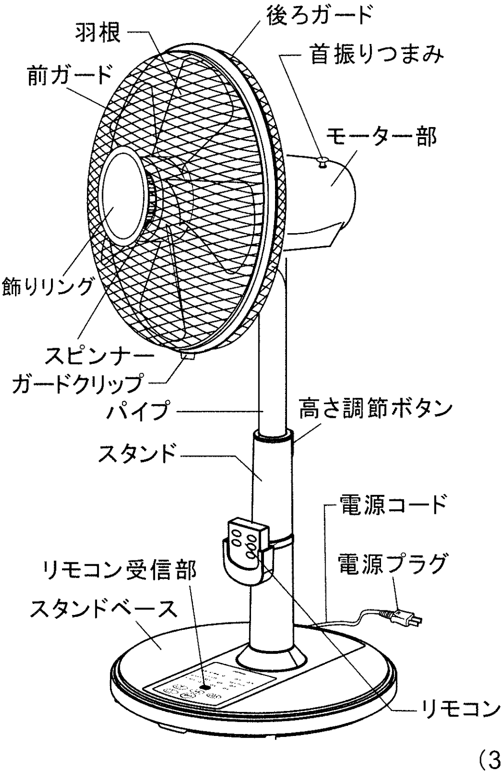
高さを調節する場合は、図のように片手でパイプを持ち、もう片方の手で高さ調節ボタンを押しながら、パイプの高さを調節してください。

風向きを変えるには

スタンド部を軽く押さえて、モーター部を上下・左右に動かしてください。

● カチカチと音が出る範囲まで調節できます。



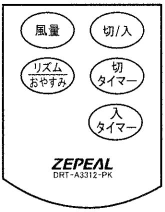


⚠ 警告

使用中(羽根の回転中)に、ガードを持って、上下、左右に風向きを変えない。ガードを持って、強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、ケガをする原因になります。

転倒による羽根破損に注意

強い衝撃や落下により、羽根が破損するおそれがあります。使用中やお手入れの際は十分にご注意ください。



「組み立てかた」

お　願　い

- 包装部品は扇風機を保管するとき、必要となりますので、捨てないでください。
- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピンナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締付けてください。
- 羽根をつけずにモーターを運転しないでください。温度過昇防止装置が働き、使用できなくなることがあります。

1～6の順番で組み立ててください

1.スタンドベースとスタンド を組み立てます

- スタンド は単体では立ちません。組立て前は必ず横向きで置いてください。
- スタンド とスタンドベースを組立ててから、後ろガード、羽根、前ガードを取付けてください。

(注意)スタンド固定ナットはスタンド(本体)底面＝裏側に取り付けられています。
スタンド固定ナットをはずさないとスタンドベースは取り付けられません。

① スタンド固定ナットをスタンド(本体)から取り外します。
(図①はスタンド(本体)を底面＝裏側から見た図です)

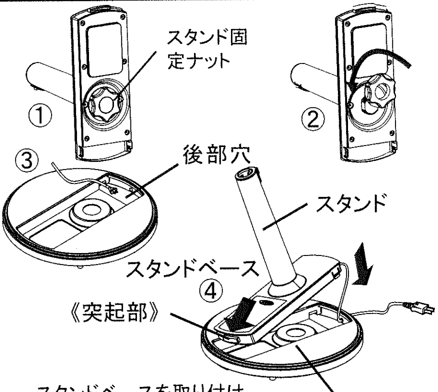
② スタンド固定ナットを矢印の方向にまわして、本体から取り外して下さい。

③ 平らな安定した場所にスタンドベースを置き、電源コードをスタンドベースの後部穴へ通してください。

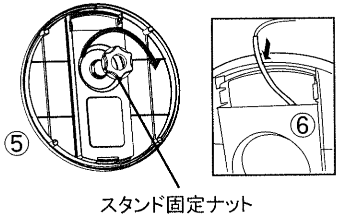
④ 平らな安定した場所に置いたスタンドベースにスタンド の《突起部》を差し込み、スタンドを上から押しながら、スタンドベースに取付けます。

⑤ ②で取り外したスタンド固定ナットを矢印の方向(時計まわり)に締めつけてください。

⑥ 電源コードをスタンドベースのコードガイドにはめ込んでください。



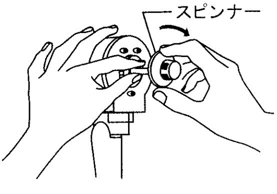
スタンドベースを取り付け底面＝裏側から見た図



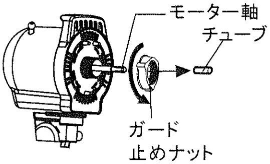
ご注意 スタンドをスタンドベースに差し込むとき、高さ調節ボタンを押さないように注意してください。

2.スピンナーをはずす

- 左手で回り止めピンを押さえて回らないようにして、右手でスピンナーを右(矢印の方向)へ回してはずして下さい。

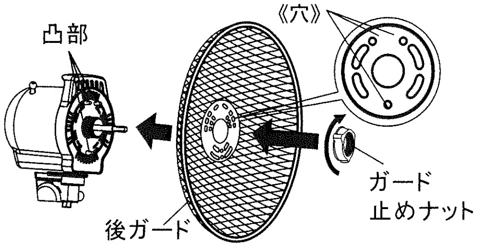


3.ガード止めナット、チューブをはずす



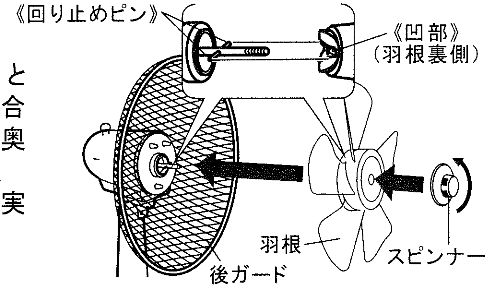
- ガード止めナット、モーター軸のさび防止用チューブをはずしてください。
  ガード止めナット、スピンナー、チューブは保管の際本体に装着して下さい。

4.後ガードの取り付け



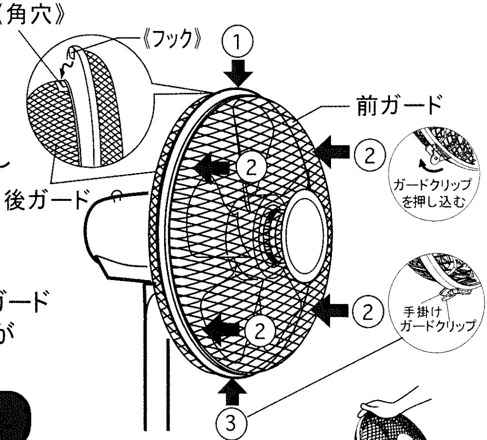
- 後ガードの穴をモーター部前面の凸部に差込み、「ガード止めナット」を右に回して、確実に締付けてください。

5.羽根の取り付け



- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差込み羽根を押さえながら、スピンナーを左へ回して、確実に締付けてください。

6.前ガードの取り付け



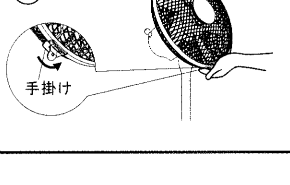
①前ガードの《フック》を後ガードの《角穴》に合わせて掛けます。

②前ガードを押さえて、全周を後ガードに確実にはめ込み、固定してください。

ご注意 この時、あまり力を入れすぎるとガードが変形するおそれがありますので、力を入れすぎないようにご注意下さい。

③《ガードクリップ》は前ガードと後ガードを挟み込むように、「パチン」と音がするまで確実にとめてください。

前ガードのはずしかた



- 電源プラグをコンセントから抜き、羽根の回転を止めてからガードクリップを、はずし、前ガードを上から押さえ、手掛けを手前に引きます。

「操作のしかた」

操作パネル

● 運転する時は、最初に「 切/入 」ボタンを押してください。他のボタンを押しても動作しません。

● 運転中に停電したり、電源プラグを抜いた場合は、切の状態になりますので、初めから操作をやり直してください。（運転開始直後の3秒間は、中風で運転し、その後自動的に弱風に入ります。）

● 操作パネルの一部とスタンドの一部が暖かくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

「切/入」 ボタン

「切/入」 ボタンを押すと運転します。
もう一度押すと停止します。

風量を調節するには

「風量」ボタンを押すと風量が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。

→微風→弱→中→強→（微風に戻る）

使用時以外は

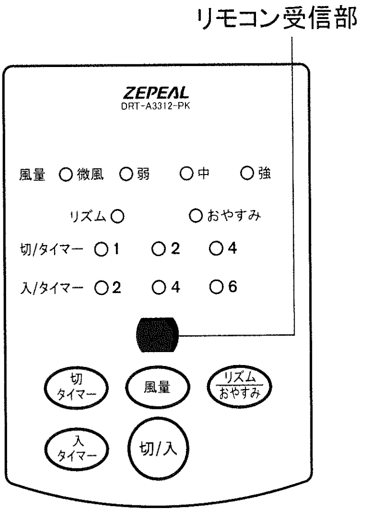
● 安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。運転 をしていなくとも、電源プラグを差込まれたままですと、わずかな電 力（約1W）を消費します。

「リズム/おやすみ」ボタン

「リズム/おやすみ」 ボタンを押すたびに下記の図のように設定が切り替わります。

（「リズム/おやすみ」 表示ランプ）

（消灯）● 通常運転 → ☼ リズム → ☼ おやすみ →（通常運転に戻る）



「タイマーについて」

切タイマーセットのしかた

「切タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。

→1時間 → 2時間 → 4時間 → タイマーセット解除（連続運転）→（1時間へ戻る）

- 時間の経過とともに表示ランプが変わり、残りの時間を表示します。
- セット時間が終わりますと、表示ランプが消え自動的に運転が停止します。

入タイマーセットのしかた

「入タイマー」ボタンを押すとタイマー時間が順送りで変わります。表示ランプを見ながら操作してください。

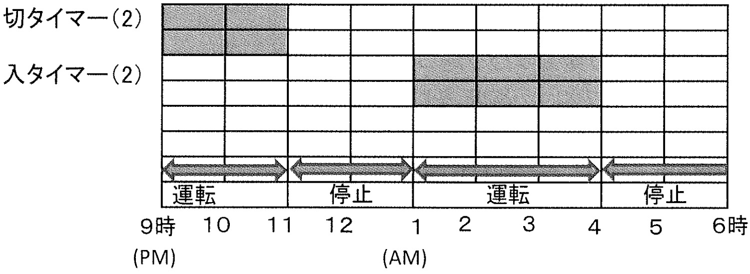
→2時間 → 4時間 → 6時間 → タイマーセット解除 →（2時間へ戻る）

- セット時間になると、自動的に運転を開始します。

- 入タイマー設定後、切タイマーの設定もできます。
- 3時間自動オフ機能について
  入タイマーで運転を開始した場合のみ、以後3時間ボタン操作がなければ、運転開始3時間後に運転を停止します。（切タイマーを設定してある場合は、切タイマーが優先します。）

入･切ダブルタイマー連動運転について

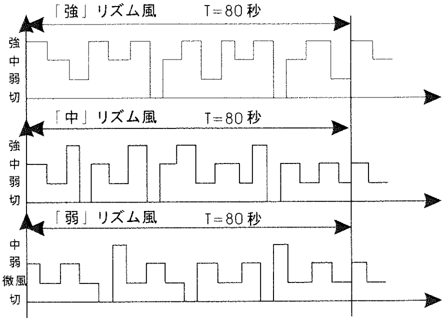
運転中、切タイマー設定後、入タイマーを設定できます。
例：切タイマーを2時間、入タイマーを2時間に設定した場合



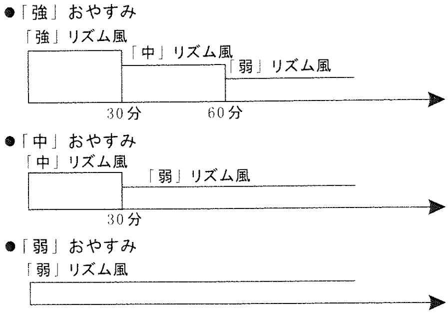
夜9時に設定をすると
夜11時に運転を停止。「入」設定が2時間なので
停止してから2時間後（夜1時）に運転を開始します。

- 入タイマーで運転開始後、3時間ボタン操作が無い場合は、運転を停止します。
- 切タイマーを解除すると、入タイマーも解除されます。
- 入タイマー設定後、切タイマーを設定できます。

■「リズム」風量パターン



■「おやすみ」風量パターン



「リズム」

●微風・弱・中・強の各風量設定ごとに、風量がリズミカルに切り替わります。
（上左図参照）

※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。

※運転時は、羽根が止まる場合があります。

「おやすみ」

●設定された風量から、30分ごとに自動的に風量を下げます。（上右図参照）

※微風で設定の場合は、弱と同じ風量パターンで運転します。

※自動的に運転を停止する設定ではありません。切タイマー併用してのご使用をおすすめします。

メモリー機能について

●運転停止後、「 切/入 」ボタンを押すと、停止する前の運転状態で運転します。
(おやすみ風量・タイマー時間はメモリーされません)

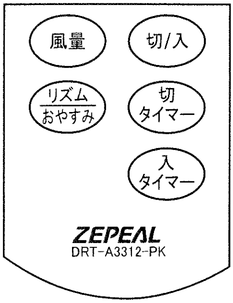
●電源プラグを抜くと、メモリーは解除されます。

「リモコン」

1、操作のしかた

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、「 切/入 」ボタンをゆっくり押してください。

- ボタンの機能は本体側と同じです。
- リモコンの使用できる範囲は4mです。



お　願　い

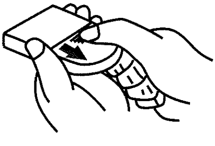
- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2個同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

※ 次のところではリモコンの操作ができないことがあります。
- 本体受信部とリモコンの間に障害物があるところ。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用しているところ。
- 本体の受信部に直射日光等の強い光が当たるところ。

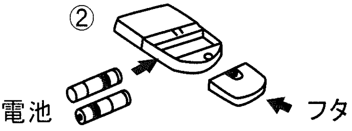
2、電池の入れ替え（単4乾電池2本使用）

①リモコンの裏側の下部にあるフタを矢印の方向に引き出します。
②「＋・－」の表示に合わせて電池を入れ、本体に元通りフタを挿入します。

①



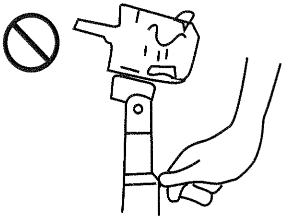
②



- 動作しにくくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- 長時間使わない時は電池を取り出してください。（液もれによる故障を防ぎます）
- もし液もれが起こった場合は、液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- 「＋・－」を正しく入れてください。
- 電池は工場出荷時に同梱されていますので、寿命が1年以下の場合があります。

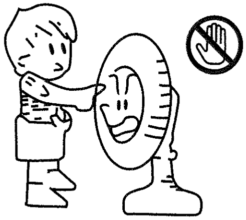
「特に注意していただきたいこと」

● 羽根、ガードをつけないで高さ調節ボタンを押したりモーターを運転しないでください。



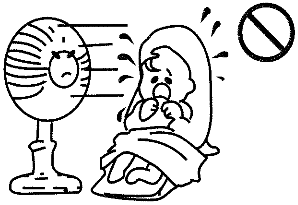
モーター部が急にはね上がり、
けがをする恐れがあります。
温度過昇防止装置が働き、使
用できなくなる場合があります。

● 運転中は絶対にガードの中へ手や、物を入れないでください。特に羽根の裏側は危険です。



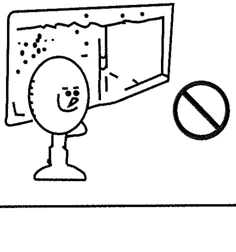
けがをしたり、破損したり
します。特に小さいお子さ
まには注意してください。

● 乳幼児、お年寄り、病気の方には長時間直接風を当てないでください。



健康によくありません。
お休み前にはタイマーを
使用し、壁などに風を向
けて反射風を 利 用 しま
しょう。

● カーテンなどを吸い込んだり、首振りがさまたげられたりしない安定した場所で使用してください。



転倒したり、モーター不良
の原因になります。

「お手入れと保管」

⚠ 警告	
	羽根・ガードをつけずに高さ調節ボタンをおしたり、モーターを運転しないでください。けがをする恐れがあります。
	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

〈お手入れ〉

羽根・(前、後)ガードにほこりが多量に付着しますと異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。組立と逆の順序で分解し、清掃してください。

● 汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないようにふき取って下さい。

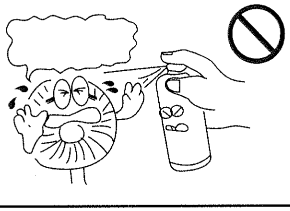
お願い

● お手入れには中性洗剤を使用してください。シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。破損・変質の原因となります。

● 化学雑巾を使うときは、その注意書きに従ってください。

● 危険防止のため、羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。

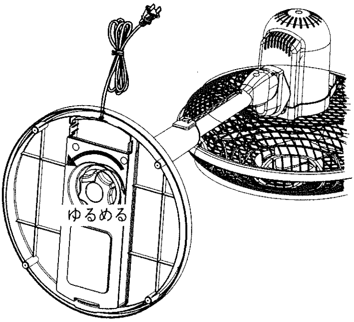
● スプレーをかけないでください。〈掃除用、殺虫用、整髪用など〉破損・変質の原因となります。



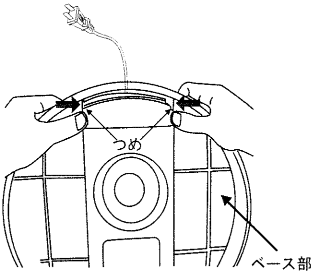
保　管

羽根を正面に向けて、組立と逆の順序で分解してください。（正面に向かない場合は無理にもどさず、首振りさせて正面に向けてください。）

※ ベースのはずし方
作業にあたっては、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。指をはさんだりしないようにご注意ください。



①スタンド固定ナットをはずします。
向かって左回し(時計と反対まわり)にまわして取りはずしてください。



②つめを左図矢印のように両手の指同時に中心にむかって軽く押すとベースからつめがはずれますのでそのまま静かにベース部を手前に引くと、ベース部が外れます。

● 〈お手入れ〉の方法に従って、お手入れしてください。
● モーター軸の汚れを取ってミシン油などをうすく塗り、チューブをかぶせてください。（さびの防止）
● 包装ケースに納め、湿気の少ないところに保管してください。

長年ご使用の扇風機はよく点検をお願いします。

★こんな症状はありませんか？

● スイッチを入れても羽根が回らない。
● 羽根が回っても回転がおそかったり不規則。
● モーター部が異常に熱い。
● 異常な音がする。
● コゲくさいにおいがする。

★異常があれば

ご使用中止！！
すぐに電源プラグを抜いて事故防止、モーターの焼損防止のために必ず販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

① この製品は保証書がついております。お買い上げの際に販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。

② 保証期間はお買上げ日より1年です。保証書の記載内容によりお買上げ販売店が修理を承ります。その他詳細は保証書をご覧ください。

③ 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。

④ 扇風機の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

⑤ アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店か本書に記載の（株）電響社へお問合せてください。

仕様					
電圧 （V）	周波数 （Hz）	消費電力 （W）	風速 （m／min）	風量 （m^3／min）	質量 （kg）
100	50	40	180	40	約3.1
	60	45	185	42	

上記のデーターは強風時点の数値です。

※ 商品の仕様は、品質向上、製品改良のため、予告なく変更することがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体に西暦４桁で表示してあります)

⚠	※【設計上の標準使用期間】 6年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件　　　日本電機工業会自主基準 HD-116-3による

大項目	中項目	小項目	備考
環境条件	電圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz及び60Hz	
	温度	30℃	JIS C9601参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	機器の取扱説明書による
負荷条件		定格負荷(風速)	機器の取扱説明書による
想定時間等	1日あたりの使用時間	8（h／日）	
	1日使用回数	5（回／日）	
	1年間の使用日数	110（日／年）	
	スイッチ操作回数	550（回／年）	
	首振運転の割合	100（%）	

● 「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ZEPEAL
株式会社 電響社
本社：〒556-0006　大阪市浪速区日本橋東2丁目1番３号
フリーダイヤル: 0120-070-440
受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日・当社休日を除く）